

# 歴史学は災害に どう向き合ってきたのか

成田龍一氏

「災害史の構想力と可能性をめぐつ  
て—3.11の経験をへて」（仮）

北原糸子氏

「理系災害学と文系災害史研究」

【講座概要】

東日本大震災と原発事故は歴史学に大きな影響を与え、災害史研究に注目が集まっています。しかし、歴史学はこれまで、過去および同時代の災害にどのように向き合い、そこから歴史認識を深めるどのような学問的営みを行ってきたのでしょうか。今回の歴史科学講座は、震災を機に生じた歴史認識の変化をふまえつつ、これまでの歴史学における災害史研究のあり方について、史学史的観点から歴史学の自己点検を試みます。成田龍一氏には史学史における災害史について、北原糸子氏には災害史研究者としての立場から、上述のテーマについてそれぞれご講演をいただきます。

【日時】2012年1月29日（日）13:00～

（戸山キャンパス正門前集合：12:45）

【会場】早稲田大学戸山キャンパス36号館681教室

【参加費】600円

※ 当日は入構制限のため、戸山キャンパス正門前に12:45にお集まりください。会場までご案内いたします。遅れてご参加の方は、090-9828-1172（本庄）まで当日お電話下さい。係の者がご案内に伺います。

東京歴史科学的研究会 TEL/FAX 03-3949-3749

〒114-0023 東京都北区滝野川2-32-10-222（歴科協氣付）

e-mail:torekiken@gmail.com URL: <http://www.torekiken.org/>